

2019年北海道e-水プロジェクト支援団体一覧

	団体名/事業名	活動地域	事業概要
流域ネットワーク	1 網走川流域の会 小さなごみも見逃さない！マイクロプラスチックを探せ！！	網走川流域	マイクロプラスチック問題の普及啓発、網走川流域(網走市、津別町、美幌町、大空町)での調査、漂着物展示を通じた啓発、流域一斉のごみ拾い
	2 石狩川流域 湿地・水辺・海岸ネットワーク 石狩川流域湿地環境啓発事業	石狩川中下流域(空知・石狩)	1)未保全湿地の継続調査とリスト化、探索会の開催、2)普及啓発のための映像・資料作り、3)湿原植物利活用WSの開催、4)湿地カフェ開催 ※「篠路福移湿地」「美唄湿原」の保全を進めるため2)を最優先で実施
	1 阿寒湖のマリモ保全推進委員会 阿寒湖チュウレイ湾でのマリモ総個体数一斉調査プロジェクト	阿寒湖	阿寒湖チュウレイ湾の100地点に上る調査地点にあるマリモをすべて引き上げ、大きさ・重量などを計測する。そのためのボランティア募集や活動にかかる備品等も申請。
	2 大沼ラムサール協議会 Wise useを意識した地域づくりProject	大沼	流入河川を含めた湖水調査と外来種の調査を通じて大沼の現状の把握を行う。また、大沼地域の将来ビジョンを話し合う場を設定し、ワークショップにより議論を行う。大沼研究発表会で成果を発表する(期間外)。
単団体	3 釧路自然保護協会 ヒプナ産卵地保護を目的とした、効果的なウチダザリガニ駆除方法の開発	釧路市春採湖岸北東部	ヒプナの産卵水草保護を目的に、ウチダザリガニ侵入防護壁の有無や駆除強度の強弱によって、個体数がどのように変化するか調査を行う。実験区内でウチダザリガニを絶滅できれば、水草の回復が期待できる。
	4 一般社団法人ちせ 沿岸漂着物に関する住民参加型調査と漂着物トランクキット開発	石狩市(石狩湾海岸地域)、札幌市内	沿岸の自然整形保全の理解と海洋マイクロプラスチック問題を念頭においた海岸漂着物の調査を行う。また、啓発のための海岸漂着物トランクキットの作成や啓発パンフレットの作成なども行う。
	5 道東のイトウを守る会 手作り魚道による釧路湿原のイトウ個体群の復元2019	釧路川流域	釧路川遊上障害の落差工(No.7)に手作り魚道を設置し、イトウ個体群の復元を図る
	6 NPO法人北海道エコビレッジ推進プロジェクト 環境共生型污水処理システムの実践研究と普及活動	余市郡余市町	環境負荷の少ない污水浄化システムを目指し、植物浄化水路を制作する。特に窒素・リンを除去する。環境教育の場としても活かしワークショップで行う。
	7 北海道北見北斗高等学校サイエンスクラブ グローバルアクションプロジェクト 常呂川水系を大切にすプロジェクト — おいしい保全 ザリガニウォッチング in 仁頃川 —	常呂川水系流域(北見市)	高校生が小学生を対象にウチダザリガニの防除活動と調理を行う。また、常呂川でごみの収集を行い、発生抑制に向けたパンフレット等を作成し、啓発を行う。
	8 ヤツメウナギ研究会 北見幌別川水系及びその流域における河川資源の保護・増殖事業及び環境保全に関する啓蒙活動(Reborn THE ヤツメ)	枝幸町歌登地区市街地 2級河川北見幌別川と2級河川ペンケナイ川及びその支流を含む流域	歌登の川をフィールドに希少種となったカワヤツメの捕獲・受精、放流を行う。同時に外来種調査も行う。子どもたちを対象に「川の生きもの」「水辺の鳥」の観察会を行う。その他、河川の清掃活動や講演会なども行う。

『北海道eー水(イーミズ)プロジェクト』について

～北海道コカ・コーラボトリング(株)と道のパートナーシップ協定による取組～

事業概要

北海道コカ・コーラボトリング(株)から、コーヒーの売上げの一部を北海道の環境保全に役立てたいとの趣旨の事業提案を受けて、道は同社と平成21年11月20日に「環境保全に関するパートナーシップ協定」を締結しました。

「北海道eー水プロジェクト」は、この協定に基づく道、北海道コカ・コーラボトリング(株)、(公財)北海道環境財団の協働事業で、平成22年から実施しています。

この事業では、同社が販売するコーヒー「ジョージアサントスプレミアム」北海道限定デザインの売上の一部の寄付を受け、それを活用して、同社、道及び(公財)北海道環境財団の連携のもと、道内の各地域(水辺)において水質浄化活動や清掃活動などの環境保全活動に取り組む団体が実施する事業に対し助成するとともに、活動の輪を広げるための情報発信の場として、「北海道eー水フォーラム」を開催します。

*「eー水」とは、エコロジーをイメージする「e」と「きれいな水」というイメージを重ね合わせ、名付けたものです。

事業のイメージ

